

中央区内景气动向调查

令和3年12月调查结果

令和4年1月31日

中央区

総 括

令和3年12月の動き

中央区内における12月の現状判断DIは合計で62.2と、前回調査から3.3ポイント上昇している。景気の先行き判断DIは合計で61.2と、前回調査から1.8ポイント低下している。

図表 景気の現状判断DI、先行き判断DI（合計）

(DI)	令和3年			前回調査 からの変化
	8月	10月	12月	
合計				
現状判断DI	38.8	58.9	62.2	(3.3)
先行き判断DI	47.4	63.0	61.2	(-1.8)

目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

調査の概要

1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した50人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) (2)の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4 調査月及び調査期間等

調査月は年6回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約1週間で、令和3年12月調査の調査票発送は12月7日（火）、回答期限は12月16日（木）である。

5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

6 有効回答率

調査客体50名に対し、有効回答客体は47名、有効回答率は94.0%であった。

7 DIの算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DIを算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

2 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の中央区内における景気の先行き判断DIは合計で61.2と、前回調査から1.8ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連DIは63.0と、前回調査から4.4ポイント低下し、企業動向関連DIは59.4と、前回調査から0.4ポイント上昇している。構成比では、「変わらない」と回答した人の割合が13.6ポイント増加し、「やや良くなる」と回答した人の割合が7.5ポイント減少した。

図表2-1 各分野における景気の先行き判断DIの推移表

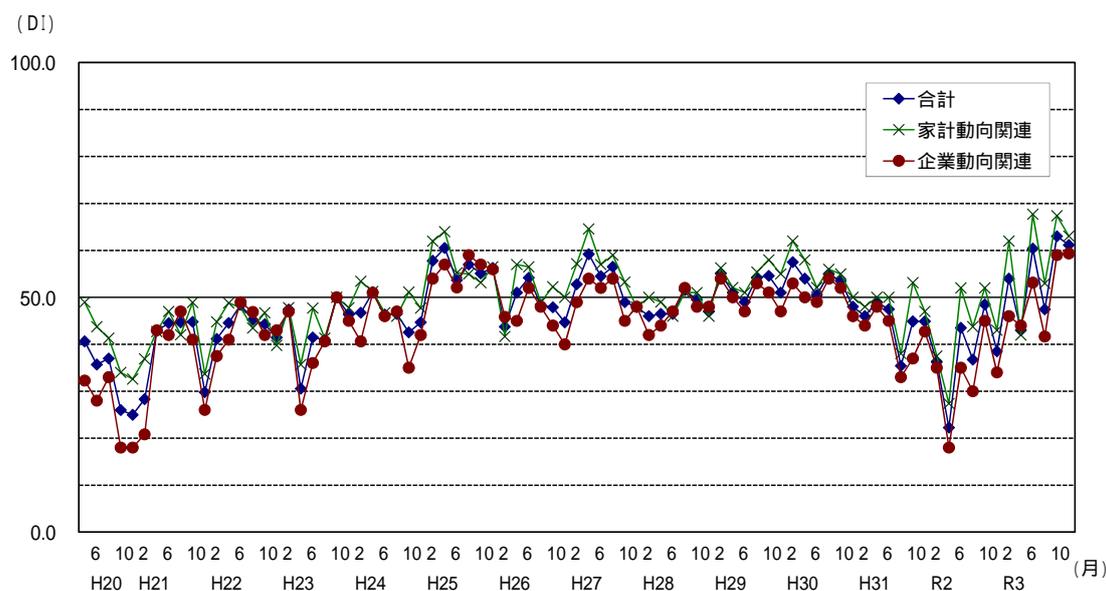
(DI)	令和3年			
	8月	10月	12月	(変化幅)
合計	47.4	63.0	61.2	(-1.8)
家計動向関連	53.0	67.4	63.0	(-4.4)
小売関連	50.0	66.1	64.3	(-1.8)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	53.6	75.0	65.0	(-10.0)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	41.7	59.0	59.4	(0.4)
製造業	40.0	65.0	62.5	(-2.5)
非製造業	42.1	57.5	58.8	(1.3)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表2-2 構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
令和3年	8	2.0%	18.4%	51.0%	24.5%	4.1%
	10	6.3%	47.9%	37.5%	8.3%	0.0%
	12	4.3%	40.4%	51.1%	4.3%	0.0%
(変化幅)		(-2.0)	(-7.5)	(13.6)	(-4.0)	(0.0)

図表2-3 各分野における景気の先行き判断DIの推移



3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

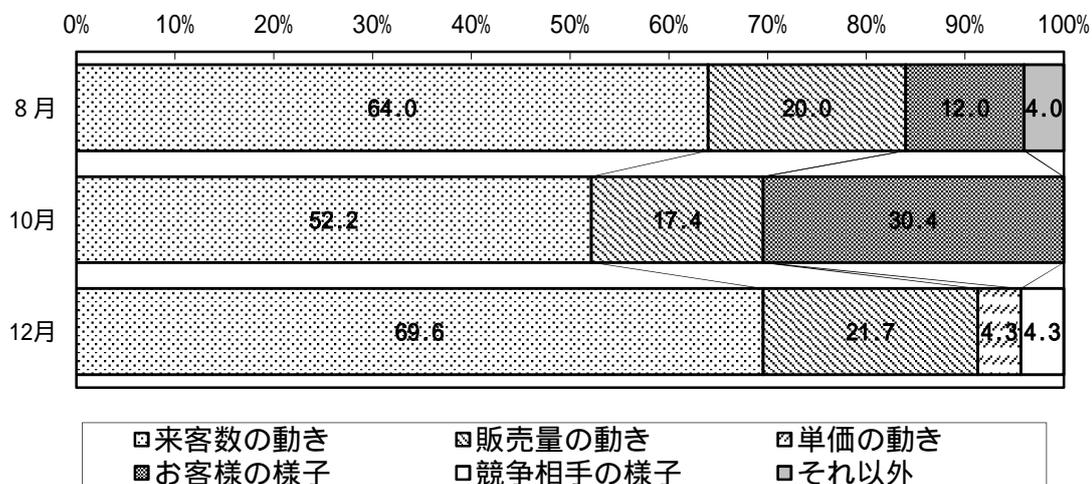
(D I)	令和3年		
	8月	10月	12月
合計	29.1	44.8	54.3
家計動向関連	23.0	48.9	56.5
小売関連	19.6	44.6	50.0
飲食関連	-	-	-
サービス関連	32.1	55.0	60.0
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	35.4	41.0	52.1
製造業	30.0	30.0	43.8
非製造業	36.8	43.8	53.8

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

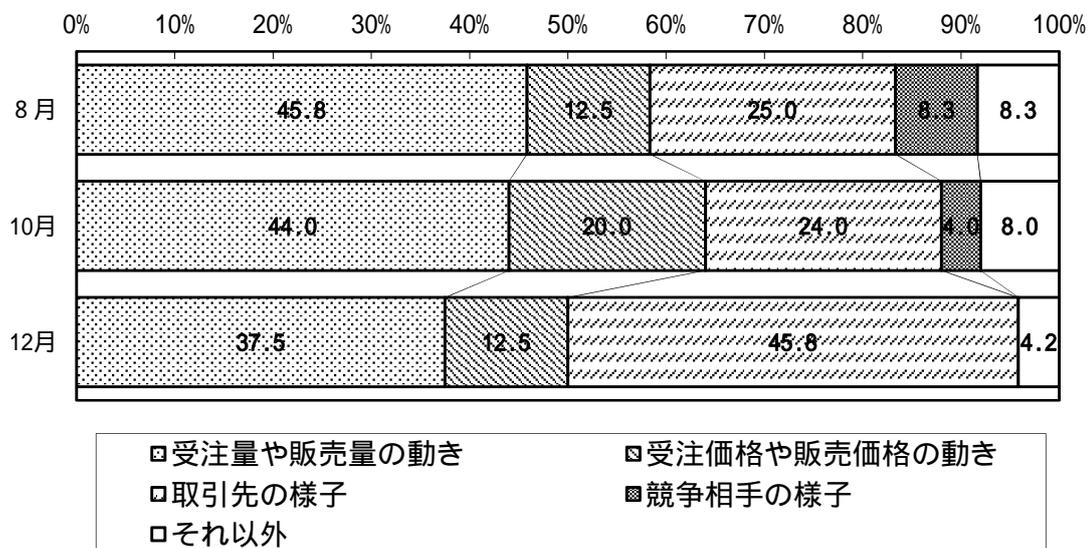
(注)景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

4 (1) 景気の現状に対する判断理由着目点

家計動向関連



企業動向関連



注) 本グラフは景気の現状に対する判断理由着目点の構成比を示している。
割合が0%の場合、数値は表記していない。

4 (2) 景気の現状に対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・前年はもちろん、前々年比の実績に迫る勢いを示している。インパウンドは消滅したが、国内客の消費マインドは堅調である。
		百貨店(総務経理担当)	来客数の動き	・週末は地方からの来店客が増えている。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・年末が近づき、市場は徐々に活気付いてきている。前月、今月と売出しイベントの開催も影響している。
	やや良くなっている	一般小売店[文具](販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、土日の来客数が大幅に増加している。
		一般小売店[靴](店長)	来客数の動き	・年配客が増加してきている。
		百貨店(広報担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が安定して低水準にとどまっていることを受け、心理的な自粛ムードが弱まっている。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後も、新型コロナウイルス感染者数の減少が続いており、来客数は3か月前のほぼ倍になっている。しかし、夕方18時以降の客足はまだ戻っておらず、厳しい状況が続いている。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、少人数ながら予約客が多くなってきている。年末の宴会シーズンということもあり、成績的には好調である。
		高級レストラン(副店長)	単価の動き	・前年の反動で忘年会の単価が上がっている。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・週末の客は8~9割戻ってきているものの、ウィークデーは5割とまだ弱い。今までと比べるとかなり良くなっている。
		都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・来客数は弱いながらもようやく戻ってきているが、単価はいまだに以前と比べて50%くらいである。
	変わらない	百貨店(総務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いていることから、大分人流が戻りつつあるが、平時の8~9割程度である。先行き不透明感から消費意欲が戻ったとまではいえない。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・年末に向かって移動時期となっているが、販売数には余り変動がみられない。
	やや悪くなっている	一般小売店[事務用品](営業担当)	販売量の動き	・年末にかけて客の動きが少し良くなってきており、10~20%は増えているが、客単価は低下している。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後の動きも落ち着き、来客数が戻ってきているが、外でお金を使っているのか、販売量が伸びない、というより減っている。
旅行代理店(店長)		来客数の動き	・Go To Travelキャンペーン待ちの買い控えで来客数が減少している。新型コロナウイルスの新型変異株の様子見など、再度、来客数、申込者数の減少傾向が続いている。	
悪くなっている	-	-	-	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	出版業(経営者)	それ以外	・盛り場の人出は間違いなく戻ってきているが、それが消費に結びつくかどうかは不透明である。
		金融業[証券](営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、株式市場は調整している。しかし、客の投資意欲は今年度の中でも一番高くなってきている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・レジャー関連業種が急速に戻り始めている。新型コロナウイルス禍発生前までとはいかないものの、明るい光が見え始めている。
	変わらない	出版業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・今は新型コロナウイルス禍も落ち着き、街に活気が戻ってきている。しかし、販売量は前年比では上回っているものの、計画には届いていない。
印刷業・製本業(経営者)		受注量や販売量の動き	・前年と同様の受注水準だが、前々年と比較すると2割程度落ちてきている。	
建設業(営業担当)		受注価格や販売価格の動き	・競争が激しく価格が下落している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年同月比で受注量に変化がない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍で各々の方向性、行くべき進路が見えてきた気がする。
		不動産業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・マンション、住宅の販売は好調であり、オフィス需要も堅調だが、好況になるには2～3年掛かるのではないかと。
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特記するほどの変化はみられない。
		卸売業〔機械器具〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ここ2～3か月の受注状況には余り変化がない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と同様に、余裕をもって予算を達成できている。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-

4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店 [文具] (販売担当)	・新型コロナウイルスの新変異株は心配であるが、このまま感染者数が下げ止まれば、安心して買物に来られる。
		百貨店 (総務担当)	・新型コロナウイルスの新変異株の動向によっては若干の下振れも予想されるものの、強い消費マインドは持続するものとみている。
		百貨店 (総務経理担当)	・消費意欲の向上や、高級品を買い求める層による波及効果を期待している。
		百貨店 (広報担当)	・行動制限緩和など社会のムードが改善する。これまで我慢していた反動もあるとみている。ただし、新型コロナウイルスの新変異株の推移などは注視が必要である。
		スーパー (店長)	・クリスマス、年末と年間一大イベントがある。ただし、その後は落ち込むのではないかとみている。
		コンビニ (店長)	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、爆発的な感染再拡大がなければ、景気は緩やかに回復していく。
		衣料品専門店 (店長)	・外出や旅行の機会が少しずつ増えている。前年の買い控えの繰越需要もある。
		高級レストラン (経営者)	・新型コロナウイルスの収束を見据えて客足も戻ると思う反面、新変異株も非常に懸念している。
		都市型ホテル (経営者)	・来客数や単価が少しずつ上向いていく。
		旅行代理店 (店長)	・新型コロナウイルスの新変異株の動向次第だが、Go To Travelキャンペーンの再開があれば回復傾向になる。収入ベースでは、海外旅行が戻らない限り厳しい。
	変わらない	一般小売店 [和菓子] (経営者)	・新型コロナウイルスの新変異株の動向次第で悪化する要素はあるものの、はっきりとは分からず、流動的である。
		一般小売店 [事務用品] (営業担当)	・年度末にかけて売上は良くなるものの、今までの減少分に鑑みて、例年を維持するのがやっとである。
		一般小売店 [食品] (店長)	・レジャー等、今まで我慢してきたことへの消費が多くなり、食品は横ばい傾向になる。
一般小売店 [靴] (店長)		・地方からの客が激減しているため、Go To Travelキャンペーンが再開されないと変わらない。	
百貨店 (総務担当)		・新型コロナウイルスの感染状況により、一進一退の状況が当面続くのではないかとみている。	
スーパー (店長)		・新型コロナウイルスによる収入の減少が回復していない。	
高級レストラン (副店長)		・新型コロナウイルスの感染状況によっては悪くなることもあり得るので、まだ先が読めない。	
一般レストラン (経営者)		・再び緊急事態宣言が発出されなければそれなりに戻るのでないかとみている。そうならないと望んでいる。	
一般レストラン (経営者)		・暮れのにぎわいが年明けも少し残っていれば良い。新型コロナウイルスも大分収束しつつあり、良い雰囲気になってきている。恐怖心をおおるような報道がなくなってほしい。	
通信会社 (営業担当)		・東京オリンピック後の景気回復が思わしくないのか、社会全体に変動が余りみられない。	
競馬場 (職員)	・変わる要素がない。		
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	卸売業 [繊維・衣服等] (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、これまでより良くなるのではないかと期待している。
		卸売業 [機械器具] (営業担当)	・年度末に向けた受注残と受注予定があり、2～3か月先は良くなる。
	やや良くなる	新聞業 (営業担当)	・受注は前年比ではプラスに転じているものの、新型コロナウイルス発生前の前々年と比べると、まだまだ回復しているとは言い難い。Go Toキャンペーンなど政府の支援策に期待したい。
		出版業 (経営者)	・新型コロナウイルスの沈静化に伴い、停滞していた消費が動き始めている。
		建設業 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いてきており、人の流れが活発化している。
	金融業 [証券] (営業担当)	・当社としては、来年3月に日経平均株価指数が32000円に回復するとみている。株価の回復により、預かり資産が更に増加することが見込まれる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響も落ち着き、各企業がウィズコロナ、アフターコロナを見据えた計画を立てられる環境が整ってきている。
		卸売業〔飲食料品（鮮魚）〕（経営者）	・新型コロナウイルスがそのまま落ち着いていれば、当社テナントへの客足も引き続き見込めるが、感染第6波が来たらアウトである。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・現状維持できるのであれば、ある程度は新型コロナウイルス発生前の状況に戻ると想定している。年度末にかけて駆け込み需要等もあると見込んでいる。
	変わらない	出版業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わってくるが、年度末に当たる3か月後も、今のところ大きな企画は見当たらない。
		印刷業・製本業（経営者）	・これ以上良くなる要素はない。
		建設業（営業担当）	・新規受注がまだない。
		建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が残っている。
		輸送業（従業員）	・得意先の動向に変化がない。
		通信業（営業担当）	・業種により新規出店計画も出てきているが、様子見の企業もまだ多い。
		通信業（営業担当）	・まだ様子見である。
		金融業〔証券〕（営業担当）	・新型コロナウイルスに対する懸念に関していえば、新変異株による国内の感染者数がある程度増加したとしても、以前ほどのショックにはならないとみている。しかし、原油価格が高止まりしている状況や、外交問題の乱れのなかでの期末接近という状況から、当面は強くも弱くも動きにくいのではないかと。
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	・取引先各社の様子に特別期待が持てる変化はみられないので、現状が続く。
		卸売業〔機械器具〕（支社長）	・受注ボリュームは計画を上回る見込みだが、資材コストが上昇しており、収益が上がりにくい。この傾向は当分続く見込みである。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス禍は落ち着いているが、新変異株も出てきており、今後の状況を見極めるのは難しい。物流が回復し始めているので、多少は前進する可能性がある。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（管理担当）	・取引先の様子を見ていると、飲食店には客が戻ってきているものの、設備投資にはまだ至っていない。もう少し先になれば若干良くなる可能性がある。
		その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当）	・変わる要素が見つからない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・建設業は他の業種より後から景気が悪くなってくる。来年以降、各店が設備投資に慎重になり、建設業全体が悪くなる。
	悪くなる	-	-

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	14
	商店街・一般小売店	5
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	5
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	0
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	0
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	7
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	2
	通信会社社員	2
	レジャー施設関連	2
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	1
	その他サービス	0
	美容室経営者・従業員	0
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	0
	設計事務所所長・職員	0
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	5
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	5
	新聞業	1
	出版業	2
	印刷業・製本業	2
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	20
	建設業	4
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	1
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0